

# 2009（平成21）年度 事業報告

## 1. 展示事業

### （1）常設展示等

展示室A（大阪空襲と人々の生活）、展示室B（15年戦争）、展示室C（平和の希求）、映像コーナー、図書室の運営、定時映画の上映（講堂）

### （2）特別展示

#### ① 特別展「第五福竜丸ーピキニ水爆実験から55年ー」

＜趣 旨＞

1954（昭和29）年3月1日未明、第五福竜丸（遠洋マグロ漁船）は太平洋のピキニ環礁沖で、アメリカの水爆実験により被爆しました。船は放射能を大量に含んだ「死の灰」を浴び、乗組員23名全員が被爆し、半年後に無線長の久保山愛吉さんが亡くなりました。

この事件をきっかけに、日本各地で原水爆を禁止する運動が occurred しましたが、事件後も米ソなどの核兵器保有国は同様の核実験をくり返し、実験地周辺の放射能被害は続きました。また、核兵器の脅威は冷戦後の現在でさえ、人類の上に重くのしかかっています。

今回の特別展では第五福竜丸の被災を中心に、現地周辺の島民の被害も含めて、パネルおよび現物資料で紹介し、核兵器の非人道性と平和の尊さについて考えます。

＜内 容＞

#### ■ 写真・文字パネル（約80点）

ピキニ水爆実験被害の実相や戦後の核兵器の状況などについて、わかりやすく説明したパネル。

#### ■ 実物資料（約60点）

「船内で採取された死の灰」「漁具」などの資料

＜協 力＞ 東京都立第五福竜丸展示館

＜会 場＞ 特別展示室

＜期 間＞ 2009（平成21）年5月14日（木）～9月20日（日）

＜参加者＞ 19,949人

#### ② 特別（収蔵品）展「学校と戦争～教室から消えた自由～」

＜趣 旨＞

日中戦争から太平洋戦争にかけて、学校では授業に戦争の色が濃くなり、末期になると小学生は空襲を逃れて疎開し、中学生は軍需工場で働き、大学生は学徒出陣で戦場に向かいました。

戦争により学校からどのように自由がなくなっていったのか、子どもや青年たちはどんな生活をおくり、どのような気持ちでいたのか、当時の写真や資料で明らかにし、戦争と平和の意味について考えます。

<内 容>

■ 写真・絵・文字パネル（約 80 点）

国民学校、旧制中学校、高等女学校などが次第に戦争に巻き込まれていく様子を説明。

■ 実物資料（約 50 点）

「奉安庫」「国民学校制服」「慰問袋」などの資料

<会 場> 特別展示室

<期 間> 2009（平成 21）年 10 月 6 日（火）

～2010（平成 22）年 2 月 21 日（日）

<参加者> 28,774人

③ 特別展「焦土大阪 ～写真で見る大空襲～」

<趣 旨>

太平洋戦争末期、1945（昭和 20）年 3 月 13～14 日に、米軍の B29 爆撃機の大編隊により大阪の中心部は火の海となり、それを皮切りに大阪は幾度も大規模な空襲を受け、焦土と化した。近年、被災直後の新たな写真資料の発見や、ピースおおさか所蔵の空襲関係写真資料の整理・検証がすすみ、大阪大空襲の視覚的展示を充実させることが可能となりました。

今回の特別展は、被災関係の実物資料の展示よりも、詳しい検証を経た写真資料を主として展示し、大阪大空襲の全貌を明らかにします。

<内 容> 写真・絵・文字パネル（約 100 点）、実物資料（約 40 点）

<期 間> 2010（平成 22）年 3 月 11 日（木）～7 月 11 日（日）

<会 場> 特別展示室

<参加者> 22,098人

(3) その他の展示

① 収蔵品展示コーナー（平成 21 年 1 月～12 月の寄贈品を中心に展示）

② 講堂内展示

・貸出パネル等の展示（「大阪空襲体験画」「昭和のこどもたち」）

③ C 展示室「世界は今コーナー」

・グルジア紛争 ・ガザ紛争

2. 企画事業

(1) 「平和と歌の交流史 ～戦争の世紀をのり越えて～」

—大阪・サンパウロ姉妹都市提携 40 周年記念



- ・参加者 300人

### (3) 教員のための平和学習講座

- ・日 時 2009（平成21）年8月7日（金） 午前10時～午後4時
- ・内 容 「平和の視点 ～ピースおおさかでの2年間の経験から」  
講 師： 永井 亘（柏原東高校教頭）  
： 三 崎 淳（布施北高校教頭）  
「大阪城フィールドワーク」  
講 師： 横山篤夫（関西大学非常勤講師）  
案 内： 常本 一（ピースおおさか専門職員）
- ・参加者 24人（小・中・高・支援学校等の教員）

### (4) フィールドワーク

- ・日 時 3月14日（日） 午前9時30分～12時
- ・内 容 戒橋界隈を歩く
- ・案内人 水知悠之介（NPOなにわ堀江1500代表理事）ほか
- ・参加者 30人

### (5) ウィークエンド・シネマ

ピースおおさかで所蔵している、戦争や平和についての映画を、多くの方々に鑑賞していただくための機会として実施しました。

- ・参加者数：2,211人（毎週土曜 45回上映）

### (6) 映像コーナー

ピースおおさかで所蔵している、戦争や平和についての視聴覚資料の利用状況  
<利用件数：2,001件>

- ・ドキュメンタリー（1,064件）
- ・劇映画（713件）
- ・アニメーション（218件）
- ・その他（6件）

### (7) 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」（12月10日～16日）

- ①映画上映 「めぐみー引き裂かれた家族の30年」  
(12月12日 午後2時～ 参加者数：38名)
- ②展 示 講堂内パネル展示

## 3. 資料の収集・提供

### (1) 資料の収集

実物資料、視聴覚資料、図書資料等の寄贈を受け、また新規に購入することにより、整備、充実を図った。

《資料収集件数》 2009（平成21）年度

	寄贈資料	購入資料
実物資料		0
視聴覚資料	77	26
文書資料		0
図書資料	74	204
計	151件	230件

## （2）平和学習資料の貸出

学校、官公署、平和運動団体等の団体に対し、写真パネル（体験画を含む）、16ミリ映画フィルム、ビデオ、DVD、紙芝居の貸出を行った。

《資料貸出件数》

	小学校	中学校	高校	自治体	その他	計
写真パネル(体験画含む)	17	8	2	30	24	81
16ミリ(アニメ)	1	2	0	2	2	7
16ミリ(ドキュメント)	0	0	0	0	0	0
ビデオ	35	45	2	13	46	141
D V D	22	33	1	1	10	67
紙芝居	4	0	0	0	5	9
合計	79	88	5	46	87	305

《利用人数》70,010人（貸出資料による学習会・パネル展の参加のべ人数）

## （3）収蔵品管理システムによる収蔵品の管理と情報提供

収蔵品管理システムにより収蔵品の登録・管理を行うとともに、3階映像コーナーと図書室内設置の端末機により、収蔵品データを情報提供した。

《収蔵品管理システム登録資料件数》

資料区分			登録件数
イ 図書資料	書 籍	市販図書	27399
		自費出版書籍	1285
		官公庁発行図書	477
		教科書	334
		国際機関等刊行図書	10
		目録	269

		そ の 他	178	
	逐 次 刊 行 物		1089	
	新 聞		79	
	軍 関 係 図 書		303	
	そ の 他		1045	
	小 計		32468	
□ 文書資料	軍 関 係	公文書・公的文書	516	
		文 書	143	
	国 民 生 活 関 係	公文書・公的文書	454	
		私 文 書	115	
	平 和 活 動	公文書・公的文書	6	
		私 文 書	19	
	ス ク ラ ッ プ		62	
小 計		1315		
八 視聴覚資料	視 覚	写 真 類	739	
		書 画 類	736	
	視 聴 覚	1014		
	音 声	127		
	テ ー タ	10		
	そ の 他	3		
	小 計		2629	
二 実物資料	戦争関係	日 本 関 係	軍 関 係	1727
			国民生活(国内)	1137
			国民生活(国外)	86
		外 国 関 係	軍 関 係	85
			国 民 生 活	36
		戦 災 資 料		20
	平 和 に 関 す る 資 料		15	
	模 型		21	
	そ の 他		59	
	小 計		3186	
合 計			39598	

#### 4. 広報・啓発

##### (1) 広報活動の充実

###### ①ホームページの運営

「ピースおおさかホームページ」により施設利用案内や事業広報等の情報提

供を行い、大阪府・市等の関係機関や日本平和博物館会議へのリンク

- ・貸出資料（大阪大空襲体験画 22セット 220枚）
- ・リンク（中央区ほか9区）

#### ②府下市町村への訪問

- ・堺市ほか8市（大阪城公園ネットワーク施設（NHK・大阪歴史博物館・大阪城天守閣・ピースおおさか）見学コース資料の提供）

#### ③チラシの配布先の拡大

- ・大阪市内の商店会（北区ほか2区）・各区の老人会（区老連）
- ・地下鉄（全駅 特別展、祈念事業 各1回）

#### ④外国人観光客への広報活動

- ・西成簡易宿泊所（13ホテル）へのパンフ（日本語・ハングル語・英語・中国語）・チラシの設置
- ・大阪観光ボランティア協会（大阪城公園内豊国神社内）によるピースおおさかへの入館促進。
- ・大阪水上バスにパンフ設置
- ・大阪城「ロードトレイン」でのアナウンス

### （2）印刷物の作成・配布

- ① パンフレット「展示のしおり」  
（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語）
- ② 館報「ピースおおさか」第41号の発行  
（5月20日発行 5,900部 関係機関・団体に配布）

### （3）大阪城関係施設との連携

- ① 東部方面公園事務所（ピースおおさか案内掲示板の設置）
- ② 大阪城天守閣（モデル見学コース）
- ③ 大阪観光ボランティア協会（観光客へのピースおおさかへの案内と紹介）
- ④ 大阪歴史博物館（モデル見学コース）
- ⑤ 大阪水上バス（パンフやチラシ等の設置）
- ⑥ 大阪城ロードトレイン（ピースおおさか案内アナウンス）
- ⑦ 西成簡易宿泊所（13ホテル）（日本語・英語・中国語・韓国・朝鮮語のパンフ等の設置と観光ボランティア協会との連携協力）

## 5. 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場の運営

### （1）空襲死没者名簿の管理

- ① 公開名簿の更新（A展示室）
- ② 登載等の申出（平成21年4月～平成22年3月）
  - ・新規申出数 30名 ・訂正申出数 1名

③名簿（原簿）登載者数（平成22年3月末現在）

9,010名

(2)「刻の庭」の維持管理

ドーム・鐘・壁面・植栽等の維持管理。

## 6. 日本平和博物館会議

- ・日 時 2009（平成21）年11月11日（水）～12日（木）
- ・内 容 ・定例会（協議事項・聴取事項）・大阪城内戦跡ウォークほか  
・核廃絶にむけた共同アピールの採択
- ・加盟館 9館  
（立命館大学国際平和ミュージアム・神奈川県立地球市民かながわプラザ・広島平和記念資料館・長崎原爆資料館・川崎市平和館・埼玉県平和資料館・沖縄県平和祈念資料館・ひめゆり平和祈念資料館・ピースおおさか）

## 7. 「ピースおおさか友の会」入会状況（2010（平成22）年3月31日現在）

- ・個人会員 153名
- ・団体会員 16団体（52口）

## 8. 理事会・各委員会等

- ・理事会  
2009（平成21）年 6月25日（第43回）  
2010（平成22）年 3月26日（第44回）
- ・評議員会  
2009（平成21）年 6月25日（第22回）  
2010（平成22）年 3月26日（第23回）
- ・運営協力懇談会  
2009（平成21）年 7月23日
- ・企画運営委員会  
2009（平成21）年12月17日（第14回）